

人権教育だより

12月号
難波小学校 人権教育部
令和3年12月17日

家庭読書アンケート

お忙しい中、家庭読書活動にご協力いただき、ありがとうございます。毎月の活動にも関わらず、たくさんのコメントや感想を書いていただき、子どもたちの学びになると共に、親子の会話も多増えたのではないのでしょうか。

アンケートにご回答いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。多くの保護者の方のご意見を聞き、今後に活かしていきたいと考え、引き続きアンケートは実施しています。是非、お答えください。次年度に向けて、今後の家庭読書の在り方について検討しており、来年度はさらに良い活動にしたいと思っていますので、ご協力よろしく願います。



人権週間(人権参観・懇談)

本年度は12月6日～10日が人権週間でした。最終日の12月10日(金)は、人権参観・懇談を行い、たくさんの保護者の方にご来校いただきました。ありがとうございました。引き続き、人権教育に力を入れて教育活動を行ってまいりますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

1年生 「はしのうえのおおかみ」

資料を読んで考え、実際に劇をして、いじわるする楽しさよりも、親切にすることがもっと楽しく気持ちがよいことに気づくことができました。



2年生 「わたしと小鳥とすずと」

「わたしと小鳥とすずと」の詩について考えることを通して、一人ひとりの違いとその良さに気づき、違いを認め合うことができました。



3年生 「ぼかぼか言葉」

教科書の資料をもとにペアトークやロールプレイを通して「ぼかぼか言葉」と「とげとげ言葉」について考え、自身の生活を振り返りました。



4年生 「権利の熱気球」

自身の権利を具体的に理解し、それぞれの権利に対して違った考え方があることを認め合い、お互いの考え方を尊重することができました。



5年生 「ちがいのちがい」

様々な「ちがい」について考えることを通して、社会における「あるとよくないちがい」についての解決方法や対処の仕方について考えました。



6年生 「権利の木」

権利の木をグループで作成することを通して、優劣を決めるのではなく、いろいろな考え方があることや、違いを尊重し合うことの大切さを感じ取りました。



ちょこっとコラム

家庭読書のコメントを紹介します

家庭読書のお家の人からのコメントに素敵なのがたくさんあります。少しずつ一部ですが紹介します。

- ・どんなものでも目に見えない所で一生懸命努力して作っている方々がいるということを知っておくと食べ物を粗末にしない。ものを大切に使うということが当たり前になると思います。子どもにはそうなってほしいと思いました。
- ・「糸井の大カツラ」の事は初めて知りました。是非行ってみたいです。いつも家庭読書の時間から、話が発展したり、知らない事が知れたり楽しい時間になっています。子どもが成長している事も感じます。
- ・子どもが幼稚園の時に、主人のお父さん、私の父・母が続けて亡くなったので『おはかまいり』を選んで読んでくれたことが有り難かったです。事あるごとに、おじいちゃん、おばあちゃんのお話を思い出してしてくれます。身近な人の死を小さいころに経験しているので、親としては大丈夫かな？と思うこともありますが、その都度乗り越えていてくれています。
- ・人もたくさんのご先祖様のいのちのバトンを受け取り、今の自分がある。生き物や植物も同じ地球の大切な仲間なんだね。とてもすてきな話を読み、すばらしい命のつながりを感じました。木のバトンいいですね。〇〇ちゃんも人と人とのバトンをしっかりつないでいてくださいね。